

○声に出して読む。
○分からない言葉 読み方 意味は、赤線を引く。
○記事の内容、読んだ感想を文章で書く。



“ねずみ”が日中住宅街に 飲食店の営業自粛などで行動変化

緊急事態宣言が出された先月以降、SNSでは住宅街で日中にねずみを目撃したという映像などが投稿されていて、専門家は飲食店の営業自粛や外出自粛でねずみの行動が変化している可能性があるとしています。

このうちツイッターに投稿された映像には、ねずみが日中に草を食べている様子が写っています。撮影した 40 代の男性によりますと、ねずみを目撃したのは先月 19 日の午前 11 時ごろ、東京 練馬区の住宅街で、夢中で植え込みの草を食べていて撮影のために近寄っても逃げようとしなかったということです。男性は「繁華街でねずみを見かけたことはあるが、このあたりで見たことはないので珍しいなと思った。人間が活動しなくなるとネズミはこんなに活発に動くようになるんだなと感じた」と話していました。ほかにも、先月 26 日の午後 5 時ごろに東京 町田市の駅の近くの交差点で撮影したとされるねずみや、今月 3 日、夕方に群馬県の住宅街の歩道や富山市の用水路にいたというねずみの写真などが投稿されています。

ねずみの行動の変化は臨時休業している大型商業施設でも見られるということです。主に首都圏でねずみの駆除を行っている会社によりますと、臨時休業中に駆除を進めるため都内のある大型商業施設の中の 42 店舗に捕獲装置を 8 日間置いたところ、合わせて 61 匹の「クマネズミ」が捕獲されたということです。

駆除を行う全国の業者でつくる「ねずみ駆除協議会」の委員長、谷川力さんは「飲食店の営業自粛で繁華街で生ゴミが少なくなるなか、餌を求めて住宅街に移動していることが考えられる。ねずみが感染症を媒介するおそれもあるので、対策を考えなければいけない」と話していました。

感想

名前 ()
内容

